

DLC膜の国際標準化

— 標準化を支える先端評価技術と世界展開を睨んだ産業応用 —

開催：平成28年9月14日（水） 13:25～17:30

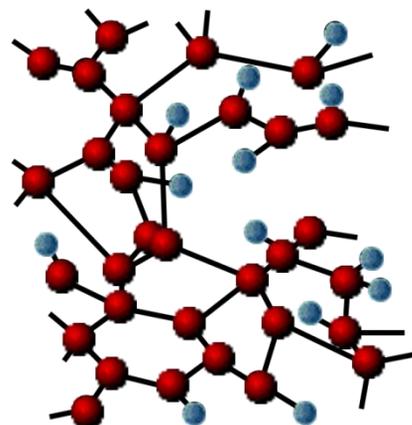
会場：A23（201B）

一般社団法人

協賛：ニューダイヤモンドフォーラム

ダイヤモンドライクカーボン(DLC)膜は、優れた特性から様々な産業分野で利用が拡大しています。その一方でDLC膜の定義は曖昧で、系統的な知見が得られておらず、利用拡大への障害となっていました。この問題を解決するために、日本のDLC研究者が中心となってDLC膜のさまざまな物性評価法、分類のISO規格化を進めています。

本シンポジウムでは、ISO規格の内容と進捗状況、規格制定の途上で明らかになったDLC膜の科学的知見の解説を行い、活発な討議からDLC膜の更なる産業展開、アモルファス材料科学の発展のシーズを開拓することを目指します。



招待講演

齊藤秀俊	長岡技大	DLC膜と国際標準化の意義
大竹尚登	東工大	DLC膜の構造と分類
和才容子	堀場製作所	分光エリプソメトリーを用いた DLC膜の光学特性評価
平塚傑工	ナノテック	DLC膜評価試験の国際標準化と適用事例
平栗健二	東京電機大	DLC膜の生体適合性評価とバイオ応用
辻岡正憲	日本ITF	国際標準化に準じたDLCの産業応用動向

ほかに3件の一般講演があります。

奮ってご参加ください。

世話人：神田一浩（兵庫県立大学）、牧野俊晴（産業総合技術研究所）、平栗健二（東京電機大学）